

社会資本整備総合交付金事業

一般国道168号 小平尾こびらおバイパス

奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料

事業評価項目一覧表

| | | | |
|---|-------------|------|---------|
| 事業名 | 社会資本整備総合交付金 | 事業主体 | 奈良県 |
| 河川・道路名等 | 国道168号 | 事業箇所 | 小平尾バイパス |
| 評価項目及び評価内容 | | | |
| <p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4車線化による渋滞緩和、交通安全確保、地域の活性化 <p><input type="checkbox"/> 必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車線数不足による交通渋滞の慢性化、歩道未整備 (資料p. 12・13) | | | |
| <p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通量が多く、朝夕を中心に交通渋滞が慢性化している。当工区の南北で4車線化事業が事業中であり、当工区も4車線化改良を行う必要がある。 <p><input type="checkbox"/> 着手までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成8年に都市計画決定 (資料p. 5・10・12・13) | | | |
| <p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画時の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $B/C = 2.5$ <p><input type="checkbox"/> 現時点の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $B/C = 2.1$ (資料p. 18) | | | |
| <p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業進捗率：約10% <p><input type="checkbox"/> 執行の遅延及び原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得の難航 (資料p. 23) | | | |
| <p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋭意用地交渉を進め、未買収地の早期取得を図る。 <p><input type="checkbox"/> 進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度事業完了予定 (資料p. 24) | | | |
| <p>事業の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋭意用地交渉を進め、早期の用地取得を図る。 ・ 平成30年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。 | | | |
| <p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関等の意向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元市町村である生駒市は事業に協力的 <p><input type="checkbox"/> 関連事業の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道168号上庄バイパス (資料p. 5) | | | |

社会資本整備総合交付金事業

こびらお

一般国道168号 小平尾バイパス

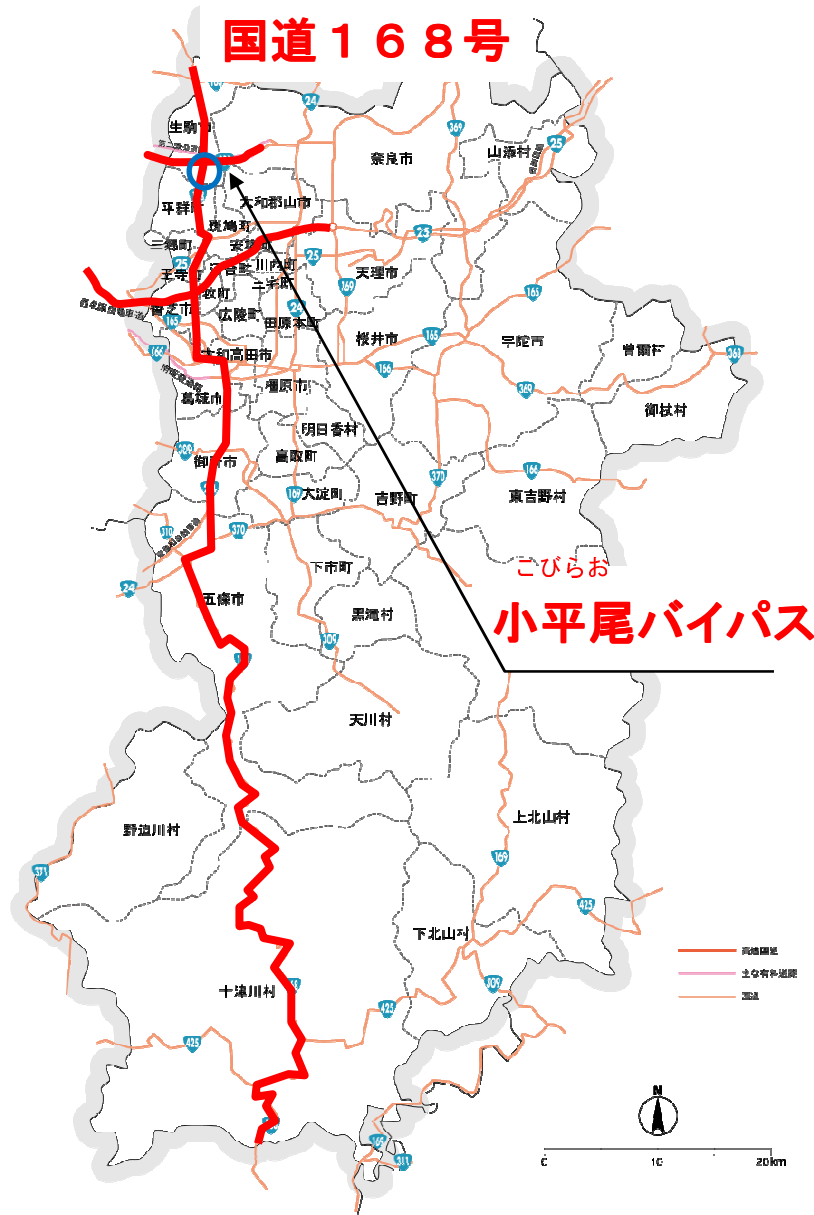
奈良県土木部道路建設課

目次

- 周辺の状況
- 事業の概要
- 事業の目的
- 事業の整備効果
- 便益に計上されていない効果
- 今後の方針

周 辺 の 状 況

周辺の状況(国道168号)



国道168号は、和歌山県新宮市を起点とし、大阪府枚方市に至る延長約175km（奈良県域約121km）の主要幹線道路

北・中和地域においては、西名阪自動車道や国道25号、一般国道165号、中和幹線など東西幹線道路と接続する道路であり、日常生活や産業活動を支えるうえで欠くことの出来ない道路

南和地域においては、世界遺産をはじめとした観光・地域産業振興・大規模災害時などの緊急輸送道路として地域にとって必要不可欠な道路

計画の概要(位置図)

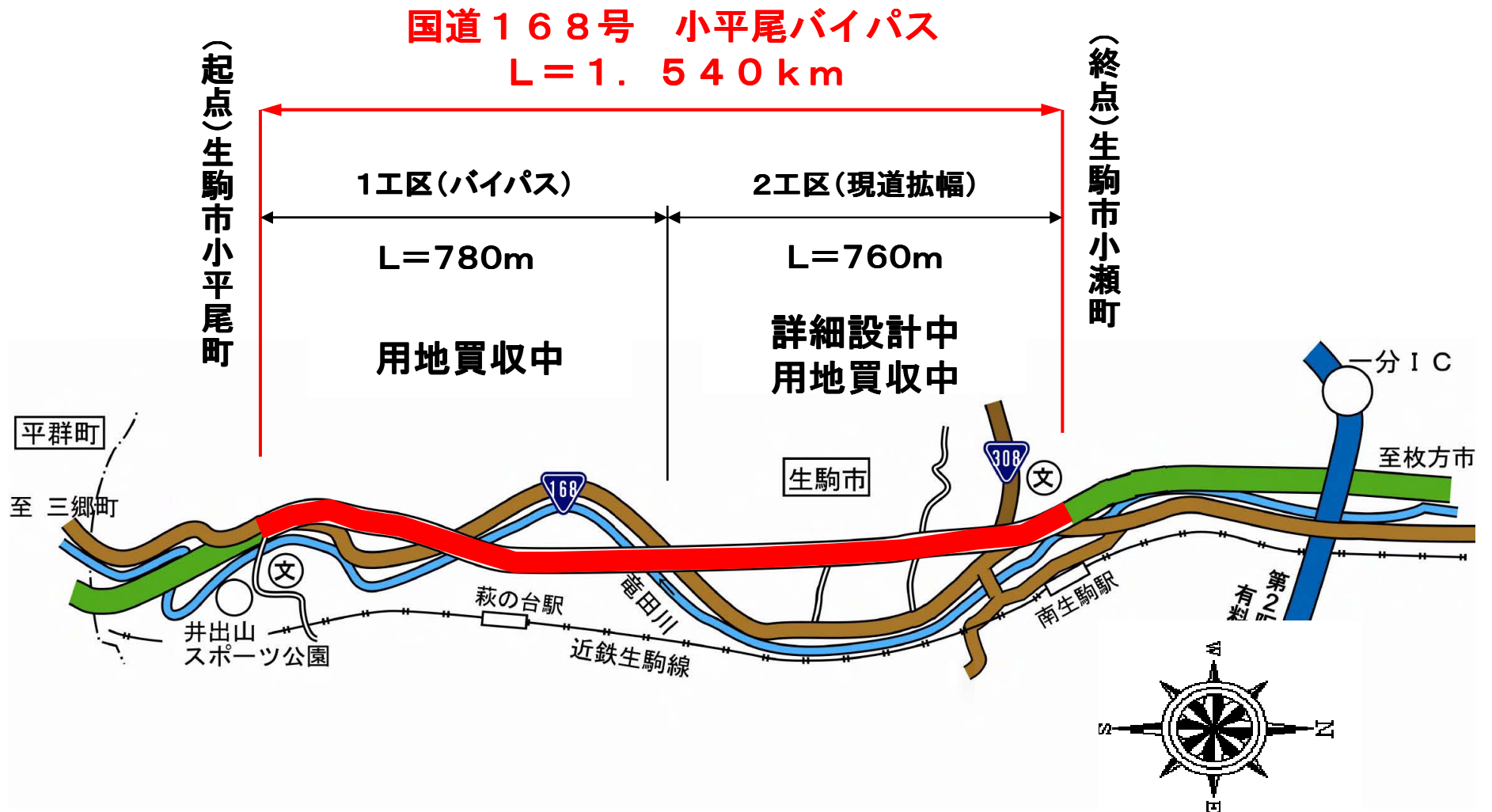


事業の概要

事業の概要

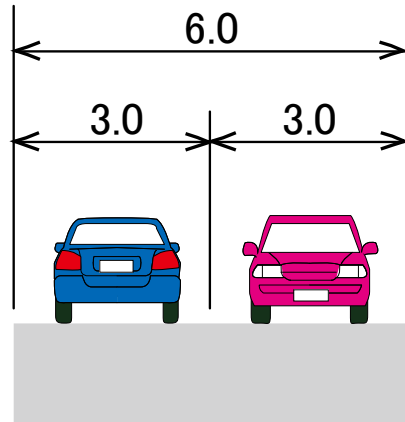
| | | |
|-------|---|------------------|
| 路線名 | : | 一般国道168号 小平尾バイパス |
| 事業区間 | : | 自) 奈良県生駒市小平尾町 |
| | : | 至) 奈良県生駒市小瀬町 |
| 計画延長 | : | L=1.5 km |
| 構造規格 | : | 第4種第1級 |
| 設計速度 | : | V=60 km/h |
| 車線数 | : | 4車線 |
| 道路幅員 | : | W=23.0 m |
| 事業化年度 | : | 平成19年度 |
| 全体事業費 | : | 約63億円 |

事業の概要(計画平面図)

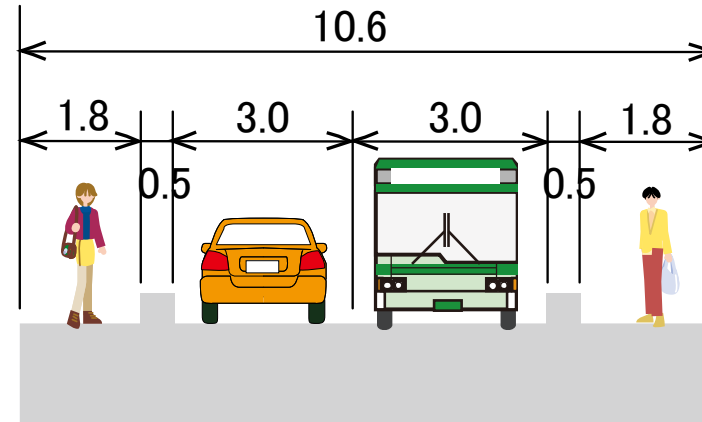


事業の概要(標準横断図)

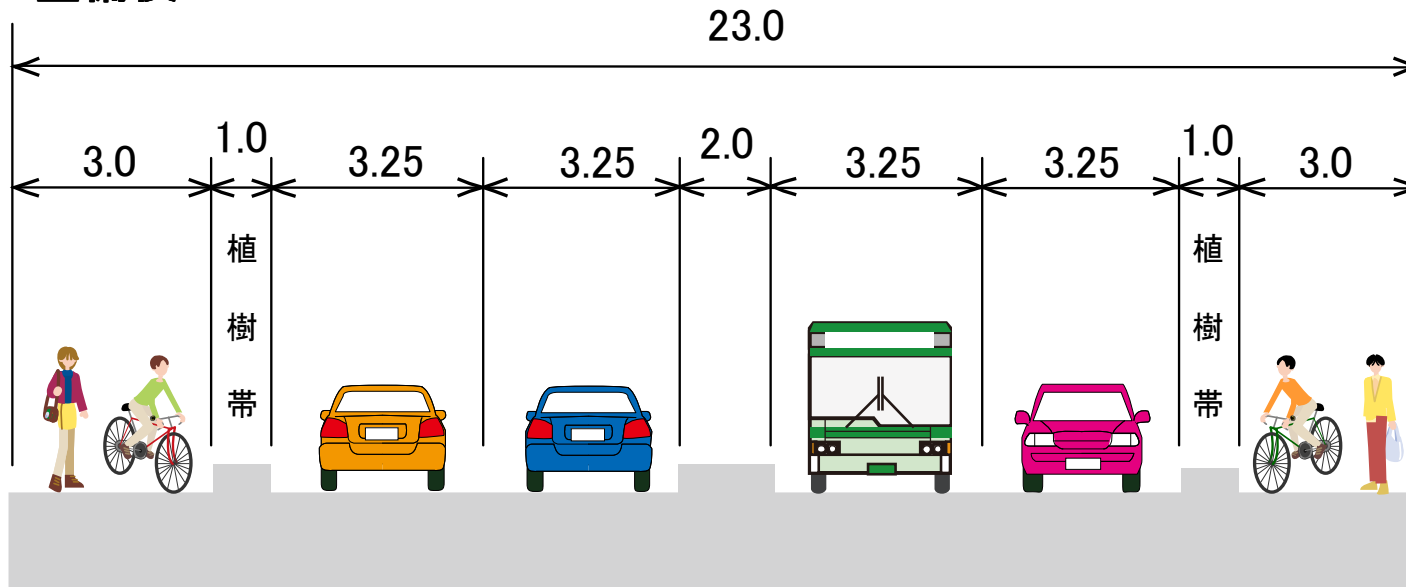
現況:バイパス区間(1工区)



現況:拡幅区間(2工区)



整備後



事業の概要(事業区間の現状)

バイパス(1工区)整備区間



現道拡幅(2工区)区間



事業の目的

事業の目的

渋滞緩和

交通量に比べ、車線数が不足



現道の渋滞状況

事業の目的

交通安全確保

歩道が未整備の区間が有り、安心・安全な通行を阻害



歩道未整備

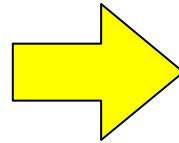
事業の整備効果

事業の整備効果

渋滞緩和

2車線 → 4車線化の交通容量確保による交通渋滞の緩和

4車線のイメージ図

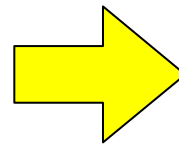


事業の整備効果

交通安全確保

歩道の整備により、歩行者、自転車の安全な通行を確保

歩道未設置区間の状況



隣接する一分バイパスの4車区間の状況

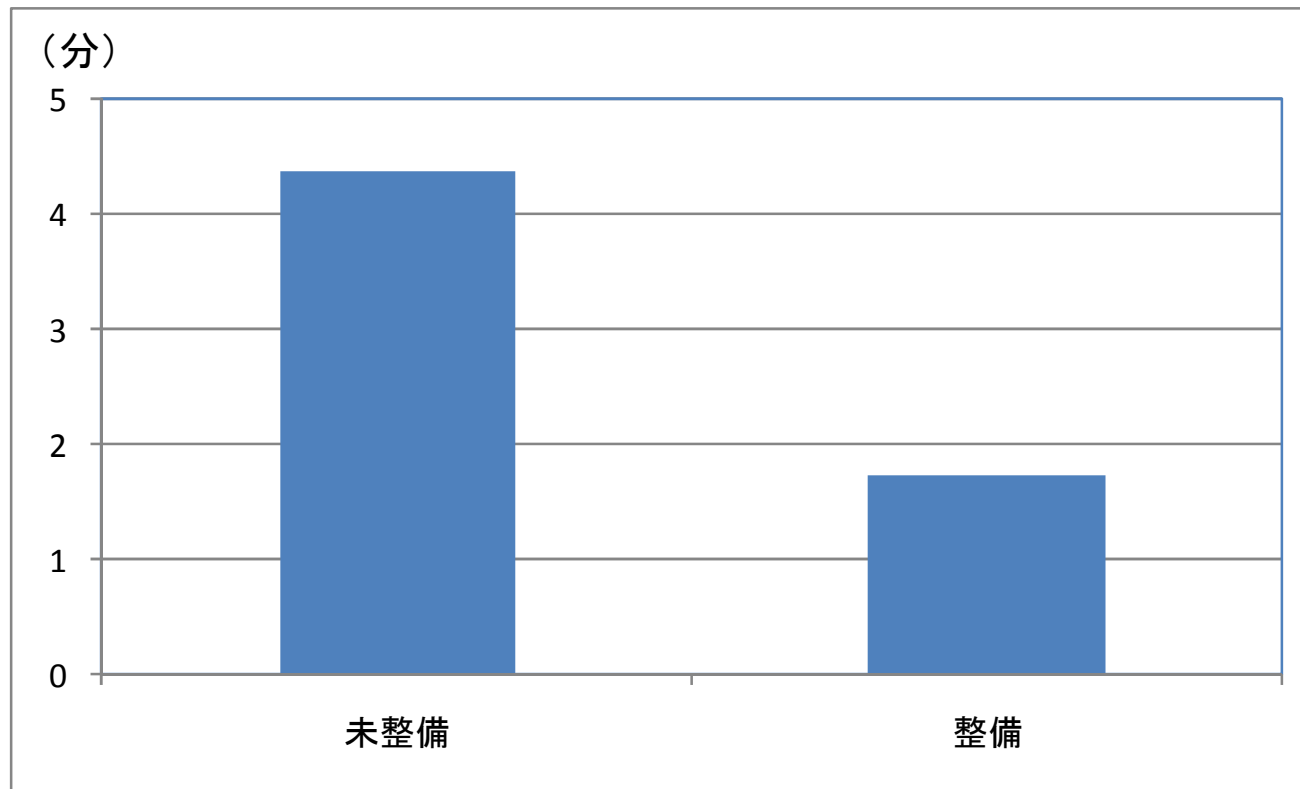


事業の整備効果

地域の活性化

生駒市小平尾町～第二阪奈道路の時間短縮

約4.4分 → 約1.7分



費用便益分析

○計画交通量と事業費

| | |
|-------|-----------|
| 計画交通量 | 19,800台/日 |
| 事業費 | 63億円 |

【参考】

前回評価時※の計画交通量
20,500~22,500台/日
前回評価時※の事業費 64億円

※平成18年度評価

○費用便益分析結果

| | |
|------|---------|
| 事業全体 | B/C=2.1 |
| 残事業 | B/C=2.5 |

【参考】

前回評価時※事業全体B/C=2.5

※平成18年度評価

注) B、Cは、評価時(平成23年度)の価値に換算している。

○便益(B)の内訳

| | 走行時間短縮便益 | 走行経費減少便益 | 交通事故減少便益 |
|------|----------|----------|----------|
| 事業全体 | 106億円 | 5億円 | 6億円 |

便益に計上されていない効果

便益に計上されていない効果

緊急車両のアクセス向上

生駒市消防署からの到着時間が短縮

小平尾町までの緊急車両到着時間： 9分⇒6分(約3分短縮)

緊急時(呼吸停止時)の死亡率 45%⇒30%(約15%改善)



今 後 の 方 針

前回(新規)評価時との比較

生駒市

- ・世帯数 43,689(H19)→47,262(H23) 3,573(8.2%)増
- ・人口 114,828人(H19)→118,748人(H23) 3,920人(3.4%)増
- ・自動車保有台数 41,115台(H19)→38,904台(H22) 2,221台(5.4%)減

事業計画等

- ・事業費 約64億円(H19)→約63億円(H23)
約1億円減(コスト縮減により)
- ・完了予定年次 平成27年度 → 平成30年度

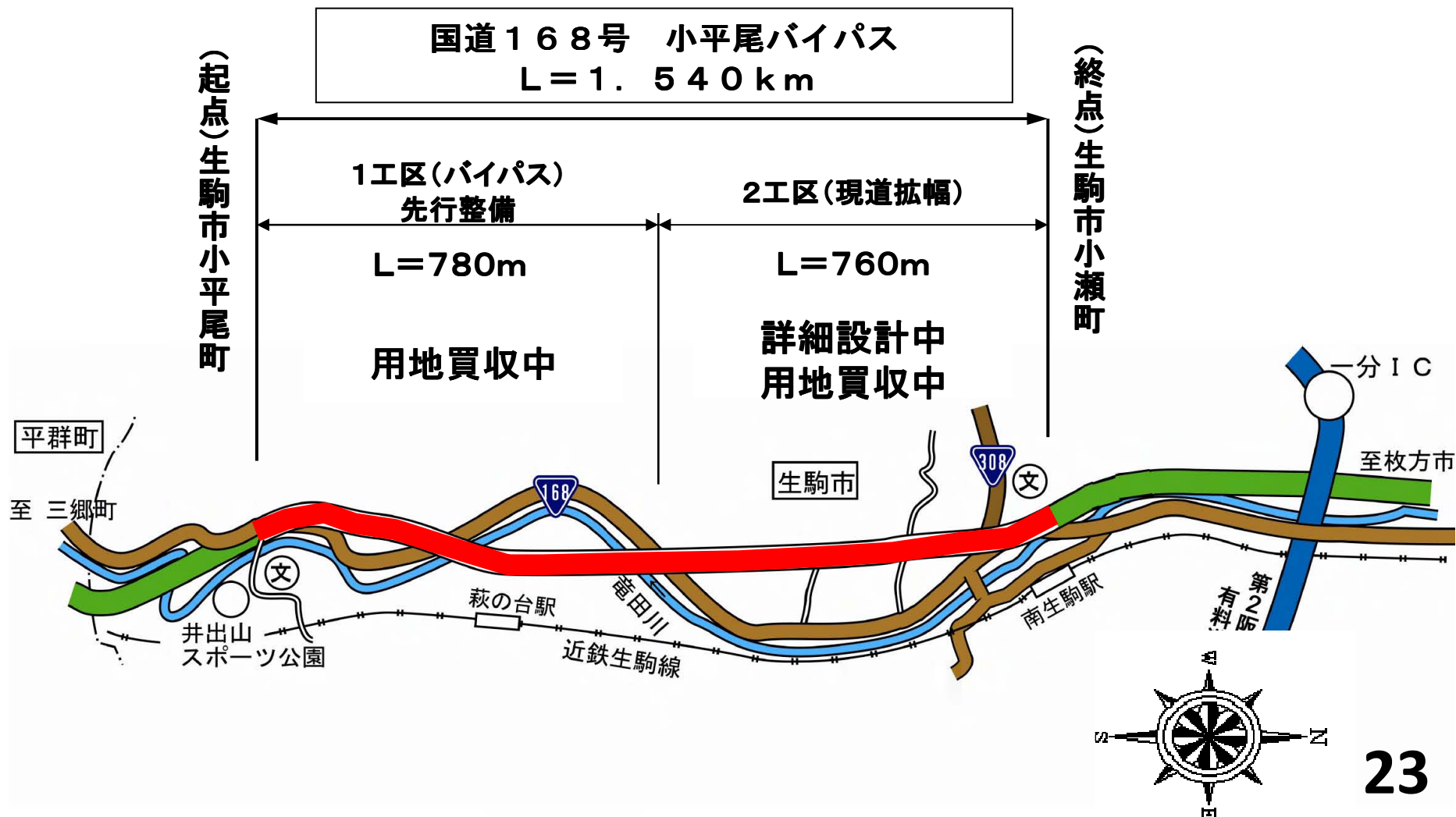
コスト縮減の取り組み

- ・新技術(PCコンポ橋)の採用など 約1億円減

事業の進捗状況

事業進捗率：10%（平成23年11月末現在）

用地買収率：31%（平成23年11月末現在）



今後の方針(案)

進捗見込み

平成30年度 事業完了予定

対応方針案

小平尾バイパスは、事業の必要性、事業進捗状況から
継続が妥当と判断
引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。

事業継続